



〇〇「限界」は超えるためにある。―世界を沸かせた熱狂を、この学校で見た 〇〇校長 河田 真一

「まだいける!」「諦めるな!」 照りつける太陽の下、あるいは熱気のこもった体育館に、生徒たちの枯れるほどの声が響いていました。この夏、私はほぼ全ての部活動の応援に駆けつけ、心地よい衝撃を受け続けてきました。

ちょうど今、世界はワールドカップの熱戦に沸いています。日本代表が予選リーグを順調に勝ち抜き、決勝トーナメント一回戦で強豪ブラジルを相手に、先制点を奪い、同点に追いつかれた後も、勝利を目指して最後の最後まで決して諦めることなく、体を張ってゴールを守り、泥臭く戦いぬいた姿。多くの日本人が会場もしくは画面越しに胸を熱くしました。

しかし私は、本校の生徒たちが戦う会場で、あのワールドカップに勝るとも劣らない「本気の熱量」を肌で感じる事ができました。普段、校内で見せる穏やかな表情とは一変し、眼光を鋭くして勝負に挑む生徒たち。練習で培ったすべてを出し切ろうと、一瞬の好機にすべてを懸ける姿。それは、大人の私たちが日々の忙しさの中で忘れかけている「何かにがむしゃらになる尊さ」を、強烈に思い出させてくれるものでした。

ピッチで戦う世界のスターたちが美しいように、生徒の皆さんが本気で走り、跳び、競い、戦った姿。声を張り上げる仲間を応援している姿。ミスをした仲間へ真っ先に駆け寄って肩を叩く姿。相手チームの好プレーに拍手を送っている姿。数字や記録には表れない素晴らしいドラマでした。言葉にできないほど美しく、格好良かったです。



勝ち負けという結果を超えて、自分の限界を自分で決めず、仲間とともに高い壁を乗り越えました。勝って奢らず、負けて腐らず。この夏を戦い抜いたみなさんは、一回りも二回りも大きく成長しました。この夏、みなさんが見せてくれた「本気」は、学校全体の大きなエネルギーになります。そして、これからの人生を引っ張っていく強力なエンジンになります。これほどまでにひたむきで、熱い君たちは、間違いなく「わが校の誇り」です。世界を沸かせた熱狂に負けない、素晴らしい夏をありがとうございました。

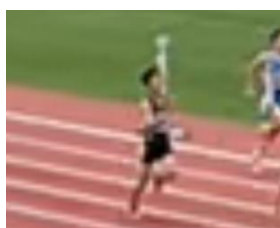
Tsukushino Junior High School Every Day

■ 部活動 夏季総体特集 ■

5月末日から観戦をはじめ、先週末をもってほぼ全ての部活動を観戦することができました。スポーツを見たり、芸術鑑賞することは好きなのですが、プロの活動やワールドカップに匹敵するくらいに、皆さんの姿を見て、たくさんの感動やパワーをもらいました。ありがとうございます。これで3年生が引退して、多くの部活動は1年生と2年生に活動の中心が移っていきますが、先輩方の残した財産を引き継ぎ、より進化させてほしいと願っています。また、今後も活動が残っている3年生のみなさん、これから本番を迎える吹奏楽部の皆さん、弓道部の皆さん、最後まで悔いのない取組を頑張ってください。

<東京都大会等(コンクール)に進出した部活動>

- | | |
|-------------------------|-----------------|
| ・陸上部(男女).....7/24、25、26 | 会場;上柚木陸上競技場 |
| ・剣道部(男子個人).....7/21 | 会場;東京武道館 |
| ・卓球部(男女個人).....7/22、23 | 会場;江戸川区スポーツセンター |
| ・硬式テニス(女子団体).....7/24 | 会場;有明の森 |
| ・東京都中学校吹奏楽コンクール.....8/6 | 会場;府中ドリームホール |



◆◆ 生徒会朝礼 ◆◆

7月6日(月)に生徒会朝礼を行いました。生活委員会は挨拶を題材とした寸劇を披露してくれました。学校運営協議会の方々や保護者の方々から「挨拶をもう少し頑張ってほしい」という指摘を受けています。ぜひ、「挨拶」について考え直すきっかけとなればよいと思います。また、美化委員会は委員会の取組と活動に協力してくれていることへの感謝について発表しました。会の最後には、FC町田ゼルビアから【ACL準優勝の記念ボール】の贈呈式があり、クラブスタッフより生徒会が記念ボールを受け取りました。受け取ったボールは、職員室前に展示していますので、ご来校の際はぜひご覧ください。



●●●●● 宿泊学習(1組) ●●●●●

7月2日～3日の日程で箱根方面へ宿泊学習に行ってきました。県立生命の星地球博物館の見学や寄木細工体験ではコースターを作成しました。宿舎では他校の生徒と合同レクで盛り上がりました。二日目は予定した散策はできませんでしたが、箱根ジオミュージアム、箱根園水族館では様々なミッションをクリアしながら見学しました。あいにくの天気となりましたが、充実した活動になったようで、多くの仲間と楽しく過ごせた二日間でした。



保護者の皆様へ

6月26日に実施した進路説明会に多くの方にご参加いただきました。進路指導にむかう心構えやシステム等の説明をさせていただきました。説明会后には都立高校(小川・成瀬・町田)が説明ブースを設置し、多くの方が活用されていました。なお、参加できなかった方は、お子様を通じて冊子を配布しますのでご覧ください。

また、7月3日の保護者会にも多くの方にご参加いただきました。学校全体の話、学年や学級の様子を理解を深めていただければ幸いです。何かご不明な点や不安なことがありましたら、お気軽にご連絡ください。

なお、7月6日(月)～11日(土)は学校公開週間を実施いたしました。最終日の11日(土)は、道徳授業地区公開講座を実施し、多くの方にご来校いただきました。ご多用の中、足をお運びいただいたことに感謝申し上げます。

昨年度と同様に、部活動での熱中症対策として、ご家庭にお願いしたいこと(例;体調管理表の記録、氷柱の用意など)がありますので、配布される夏季休業中のお知らせにてご確認ください。なお、昨年同様に熱中症特別警戒アラート発令時に(過去に発令の実績は無し)は活動中止となりますので、ご理解とご協力よろしくお願いいたします。

9月のおもな予定

- 1日(火) 始業式
- 11日(金) 学校公開、学校説明会(14:00~14:50)
- 12日(土) 学校公開、学校説明会(9:40~10:30)
- 15日(火)~16日(水) 中間考査(給食あり)
- 29日(木) 生徒会役員選挙
- 30日(金) 小中交流会(4時間授業 給食なし)

お天道様

塾のパンフレットについて、「消しゴムだけ抜き取り、パンフレットをポイ捨てしている」「パンフレットをその場に捨てていく」といったつく中生の行為について、生徒会役員の皆さんや中央委員会でも話題となり、さらに残念ながら近隣にお住まいの方々から複数の苦情の電話を頂きます。定期考査の対策や夏期講習のお知らせ、期末考査の結果を受けて入塾を考える時期でもあります。塾の皆様も営業的な側面はあるかもしれませんが、つく中生の学力向上を心配してくださっていると考えることもできなくはありません。せっかく作ったものを捨てられていたらどう思うでしょうか。必要のないものは「いりません」としっかり断りましょう。もらうのであれば適切に扱ってください。皆さんの住む町はゴミ箱ではありません。誰が処分しているのかも考えてほしいです。



ところで、みなさんは「お天道様」という言葉を知っていますか。最近あまりこのような表現をする人はいないかもしれませんが、昔は「お天道様に顔向けできるような生き方をしなさい」と言われることがありました。お天道様とは太陽のことですが、昔の日本人は太陽を神様だと考える人がたくさんいました。お天道様に顔向けでき生き方とは、太陽のように明るい光に照らされても、何もやましいことがなく、強くて真っ直ぐな生き方のことです。

ところで、みなさんは「お天道様」という言葉を知っていますか。最近あまりこのような表現をする人はいないかもしれませんが、昔は「お天道様に顔向けできるような生き方をしなさい」と言われることがありました。お天道様とは太陽のことですが、昔の日本人は太陽を神様だと考える人がたくさんいました。お天道様に顔向けでき生き方とは、太陽のように明るい光に照らされても、何もやましいことがなく、強くて真っ直ぐな生き方のことです。

見られていなければ、バレなければ大丈夫といった、ポイ捨てに限ったことではありません。人間生きていけば悲しいこと、苦しいこと、目の前が真っ暗になるほど落ち込むような経験を経ることがあるものです。そんな時にうそでごまかしたり、間違ったことをしたり、楽なほうへ逃げたりすると、お天道様の光が自分を責めているように感じ、おのずと下を向いて生活するようになります。逆に辛くても、苦しくても、必死に、そして正直に真っ直ぐ生きるとお天道様の光はとても暖かく感じるができます。その光によって、まわりの人の思いや温かさにも気づくことができるかもしれません。そうすれば、辛い時でも必ず一歩を踏み出して、歩くことができます。

中学生は、大人と子どもの分岐点です。様々なことで思い悩むことも多いかもしれません。そんな時こそ、お天道様はいつもみんなを照らしているということを忘れずに、前を向いて歩いてくれることを願っています。

(副校長 残間 喜満)